

報道関係者各位

2025 年 10 月 26 日

東京貿易ホールディングス株式会社

東京貿易ホールディングス PLAiF 社と日本の製造業向け 組立自動化事業の共同開発に向け MOU 締結

事業開発型商社グループを形成する東京貿易ホールディングス株式会社（本社 東京都中央区、代表取締役社長執行役員 坪内秀介 以下 TBH）は製造業向けフィジカル AI ソリューションを開発する PLAiF Co.,Ltd.（本社 韓国 京畿道 城南市、チョン・テヨン代表取締役 CEO 以下「プライフ社」と、日本の製造市場における組立自動化事業の共同開発に向けた基本合意書（MOU）を締結したことを発表しました。

■ 基本合意の主な内容

両社は、日本の製造市場における組立自動化事業の共同開発に向け、市場性および技術適用性の検証を共同で進めます。検証結果を踏まえながら、日本の製造現場に適した事業モデルの構築と事業化を段階的に推進していきます。

【東京貿易グループの役割】

- ・日本国内の製造業ネットワークを活用した市場開拓
- ・顧客ニーズおよび自動化課題の発掘
- ・実証実験（PoC）や事業開発の企画・推進
- ・日本市場における販売・事業展開の支援

【プライフ社の役割】

- ・フィジカル AI を活用した組立自動化ソリューションの提供
- ・双腕ロボットを活用した組立・締結技術の提供
- ・技術評価および実証実験に必要な技術支援
- ・日本市場向けソリューションの技術検証および高度化



TBH スマートマニュファクチャリングセグメント CEO
水原弘人（左）
プライフ社 チョン・テヨン代表取締役 CEO（右）

両社は、それぞれの強みを生かし、日本の製造現場が抱える人手不足や技能継承、生産性向上といった課題の解決に向けて、組立自動化ソリューションの実用化と事業化を目指します。

プライフ社 チョン・テヨン代表取締役 CEO コメント

今回の MOU 締結は日本の製造現場において、組立自動化が実際にどこまで適用できるかを共に確認する出発点となります。現場が必要とする技術とビジネスモデルを一つずつ具体化していきます。

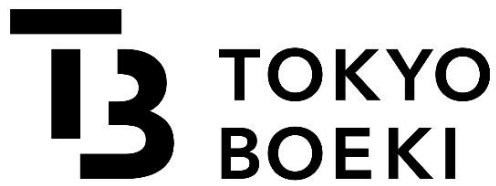
TBH スマートマニュファクチャリング セグメント CEO 水原弘人コメント

プライフ社の組立自動化技術に、東京貿易グループの日本製造市場での経験を加え、顧客の現場に適したビジネスチャンスを探っていきます。検証プロセスを経て、両社が長期的にともに歩める協力の方向性を見出していくことを期待しています。

東京貿易グループは、今後も国内外の先進技術と日本の産業界をつなぎ、製造業の生産性向上と持続的な発展に貢献してまいります。

【お問い合わせ】東京貿易ホールディングス株式会社 グループ広報部 隅田まゆみ
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 28 階
TEL: 080-7243-4725 Mail: sumita.mayumi.az@tokyo-boeki.com

■東京貿易グループとは



持ち株会社である東京貿易ホールディングス株式会社（東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 27F、代表取締役社長執行役員 坪内秀介）と個性豊かな国内外の 17 事業会社、合計 18 社で構成する事業開発型商社グループであり、1947 年の創業から 78 周年を迎えました。

エネルギーインフラ、スマートマニュファクチャリング、イメージソリューション、マテリアルサプライの 4 つのセグメントに注力し、各社が専門性の高い事業を展開しつつも、総合力を生かして新しい価値を世の中に提供し続けるグループを目指しています。

東京貿易グループは今後も変革を恐れず、自由闊達な文化の下、イノベーションを起こし、ステークホルダーの皆様が安全・安心な生活、経済、社会活動をおくることができる、より良い社会の実現と持続に貢献します。

<https://www.tokyo-boeki.co.jp/>